

# 清泉女子大学大学院 過去問題

これまでに志願のあった科目について、最も新しい問題の情報を公開します。

なお、公開されていない科目は志願のなかった科目です。

また、一義的な解答例を示すことが難しい問題は、その公開を省略します。

課程			修士課程			
公開 科目	専門科目	言語文化専攻	日本語圏	英語圏	スペイン語圏	
		思想文化専攻	思想文化			
		地球市民学専攻	地球市民学			
	外国語科目 語学科目		英語	スペイン語 (地球市民学専攻を除く)	フランス語 (地球市民学専攻を除く)	
			ドイツ語 (地球市民学専攻を除く)	中国語 (地球市民学専攻を除く)	漢文 (言語文化専攻・地球市民学専攻 を除く)	
	小論文	言語文化専攻	日本語圏	英語圏	スペイン語圏	
		思想文化専攻	思想文化			
		地球市民学専攻	地球市民学			
	公開年度			2004 年度入試		
	期			秋季	春季	
出題意図			志望する研究分野に関する基礎的な知識・理解を測る。			
解答例			<p>2            観察、分析対象となる言語は日本語で同じであるが、日本語を「国語」すなわち、日本国の言語ととらえる視点は、日本語を母語とする人の視点にちかい。それに対して、日本語を日本語ととらえる視点は、日本語を客観的に一つの言語としてとらえる視点といえる。また、学史としてとらえた場合、「国語学史」は日本語母語話者が日本語を研究した歴史であることが多く、日本語を母語としない人の日本語研究を含まないことが多い。</p>			

平成十六年度 秋季

大学院修士課程 入学試験問題

《言語文化専攻》

【小論文…日本語圏言語文化関係】

次の1、2のうち、いずれか一つを選んで論述せよ。〔100点〕

1 文学作品における登場人物と「モデル」の関係について

2 「日本語学」と「国語学」の違いについて



## 清泉女子大学大学院 過去問題

これまでに志願のあった科目について、最も新しい問題の情報を公開します。

なお、公開されていない科目は志願のなかった科目です。

また、一義的な解答例を示すことが難しい問題は、その公開を省略します。

課程		修士課程			
公開 科目	専門科目	言語文化専攻	日本語圏	英語圏	スペイン語圏
		思想文化専攻	思想文化		
		地球市民学専攻	地球市民学		
	外国語科目 語学科目		英語	スペイン語 (地球市民学専攻を除く)	フランス語 (地球市民学専攻を除く)
			ドイツ語 (地球市民学専攻を除く)	中国語 (地球市民学専攻を除く)	漢文 (言語文化専攻・地球市民学専攻 を除く)
	小論文	言語文化専攻	日本語圏	英語圏	スペイン語圏
		思想文化専攻	思想文化		
		地球市民学専攻	地球市民学		
	公開年度		2007 年度入試		
	期		秋季	春季	
出題意図		志望する研究分野に関する基礎的な知識・理解を測る。			
解答例	問Ⅰ	省略			
	問Ⅱ	省略			
	問Ⅲ	省略			

平成19年度 秋季  
大学院修士課程 入学試験問題  
《言語文化専攻》  
【小論文：英語圏言語文化関係】

次のⅠ，Ⅱ，Ⅲの中から1問を選択し、英語または日本語で解答せよ。  
【各100点】

Ⅰ 英米文学

次の英文を読んで、自分の意見を述べよ。

Shakespeare is like food; we take both very much for granted. It is only when we come across a passage of particular intensity in a play that we question how the language has been employed to achieve that result, just as it is only for exotic dishes that we enquire about the ingredients.  
(*The Language of Shakespeare* by N. F. Blake)

Ⅱ 英語学

D. Tannen (1989) has said "...ordinary conversation is made up of linguistic strategies that are thought to be essentially literary, and literary genres elaborate and use strategies that are spontaneous in conversation." Discuss the relationships between spoken and written language that she is suggesting.

Ⅲ 英語教育学

次の中から1問を選び、教授経験を踏まえて、自分の意見を述べよ。

1. Adults proceed through early stages of syntactic and morphological development faster than children (where time and exposure are held constant).
2. Older children acquire language faster than younger children (again, in early stages of syntactic and morphological development where time and exposure are held constant).
3. Acquirers who begin natural exposure to second language during childhood generally achieve higher second language proficiency than those beginning as adults.  
(*Age and the Rate of Foreign Language Learning* Edited by C. Muñoz)



## 清泉女子大学大学院 過去問題

これまでに志願のあった科目について、最も新しい問題の情報を公開します。

なお、公開されていない科目は志願のなかった科目です。

また、一義的な解答例を示すことが難しい問題は、その公開を省略します。

課程			修士課程			
公開 科目	専門科目	言語文化専攻	日本語圏	英語圏	スペイン語圏	
		思想文化専攻	思想文化			
		地球市民学専攻	地球市民学			
	外国語科目 語学科目		英語	スペイン語 (地球市民学専攻を除く)	フランス語 (地球市民学専攻を除く)	
			ドイツ語 (地球市民学専攻を除く)	中国語 (地球市民学専攻を除く)	漢文 (言語文化専攻・地球市民学専攻 を除く)	
	小論文	言語文化専攻	日本語圏	英語圏	スペイン語圏	
		思想文化専攻	思想文化			
		地球市民学専攻	地球市民学			
	公開年度			2023 年度入試		
	期			秋季	春季	
出題意図			志望する研究分野に関する基礎的な知識・理解を測る。			
解答例			<p>本記事は、フランス語における性差のない三人称代名詞「iel」が権威ある辞書「ロベール」のオンライン版に掲載されたことと、それをめぐる社会的議論を扱っている。この語は、従来の男性形「il」と女性形「elle」を組み合わせ合わせたもので、男女いずれにも属さない、いわゆる「第三の性」を表す必要性から生まれた。背景には、性的少数者の権利意識の高まりと、それに対応する言語表現の不足がある。英語圏では単数の「they」がすでに用いられているが、フランス語には同様の形式が存在しなかったため、新たな語が創出されたのである。</p>			

解答例

この「iel」が辞書に掲載されたことに対し、反応は大きく分かれている。保守派や一部の政治家は、これを「米国発のイデオロギー」と批判し、フランス語の伝統や社会の統一性を損なうものと懸念している。一方で、男女平等・多様性担当相は、言語の変化を肯定的に捉え、「言語をより豊かにする」と評価する。また辞書編集者は、辞書の役割は実際に使われている語を定義し、理解を助けることにあり、中立的立場を示している。

私は、この問題は単なる言語の問題ではなく、社会の価値観の変化を映し出すものであると考える。言語は固定されたものではなく、常に社会の変化とともに変容するものであり、新たな現実に対応するための語が生まれることは自然な流れである。ただし、その受容には時間が必要であり、急激な変化が反発を招くのも理解できる。重要なのは、特定の立場を排除するのではなく、多様な価値観を認めつつ、言語のあり方について時間をかけて対話を重ねていくことであろう。

**2023(令和5)年度 春季**  
**大学院修士課程 入学試験問題**  
**《言語文化専攻》**  
**【小論文：スペイン語圏言語文化関係】**

フランス語に「第三の性」を表す新語の代名詞「イエル」が辞書に掲載されたことについての記事を読み、なぜこのような語が生まれたのか、またこのことについて、さまざまな立場からの反応を整理して述べたうえで、この記事の内容についての自分の考えを論述せよ。[[100点]

文法に男女の区別が存在するフランス語で、性差のない人称代名詞が10月、権威ある辞書「ロベール」のオンライン版に掲載され、物議を醸している。社会で認知されつつある造語を辞書に反映した流れだが、フランス語の伝統を重んじる政治家からは「米国かぶれ」と批判の声も飛び出した。男女どちらにも属さない「第三の性」を示す代名詞はフランスで定着するか――。

辞書に掲載されたのは、三人称の人称代名詞(主格)で、英語でhe(彼)にあたる「il」とshe(彼女)にあたる「elle」を合体させた「iel(イエル)」。

ロベール社の発表によると、10月上旬の編集会議でイエルのオンライン辞書掲載を決定した。あらゆる文書の表現を定期的に観察し、新語の出現をチェックしている中、イエルは「まだ頻度は少ないが、この数カ月で使用が急激に増えた」と注目されたという。

米国では、英文の書き方のガイドとして権威のある「APスタイルブック」が2017年版で、男女どちらかに分類されたくない性的少数者に対し、複数形の人称代名詞の「they」を単数形にも容認すると掲載。記者や大学生の間で使われ始めていた。

フランスではこうした単語がなかったため、数年前に性的少数者の権利擁護運動の関係者の中で、イエルが生まれたとされる。フランスで配信されている英人気ドラマの吹き替え版で「イエル」がせりふに使われるなど、徐々に広がりつつある。

ただ、この新語が権威ある辞書に掲載されたのは、ジェンダー問題にアレルギーの強い中道や保守層にはショックだったようだ。中道を掲げるマクロン政権内でも賛否は割れている。

与党「共和国前進」の下院議員は16日、ツイッターで「米国発のイデオロギーに染まったもので、仏国民を分断する」と非難。17世紀に設立された国立学術機関で、フランス語の口付け役を担う「アカデミー・フランセーズ」にこの問題の見解をたず文書を公表した。これにブランケール国民教育相も同調し「子供たちは参考にはいけない」と、火に油を注いだ。

一方、モレノ男女平等・多様性担当相は18日にラジオ番組で、「イエルの登場で言語はより豊かなものになる。それがなぜショックという反応になるのか分からない」と述べ、辞書掲載を擁護した。

ロベールの編集責任者、シャルル・バンブネ氏は「意味が分からなければ、使うことも拒絶することもできない。我々の使命はフランス語の変化に目をこらし、世の中で使われている言葉を定義し、理解の一助となることだ」と見解を発表し、論争を見守っている。

（「フランス語：仏に『第三の性』新語 代名詞『イエル』辞書に掲載 保守層『米国かぶれ』と批判」、毎日新聞 2021 年 11 月 22 日夕刊より）



## 清泉女子大学大学院 過去問題

これまでに志願のあった科目について、最も新しい問題の情報を公開します。

なお、公開されていない科目は志願のなかった科目です。

また、一義的な解答例を示すことが難しい問題は、その公開を省略します。

課程		修士課程			
公開 科目	専門科目	言語文化専攻	日本語圏	英語圏	スペイン語圏
		思想文化専攻	思想文化		
		地球市民学専攻	地球市民学		
	外国語科目 語学科目		英語	スペイン語 (地球市民学専攻を除く)	フランス語 (地球市民学専攻を除く)
			ドイツ語 (地球市民学専攻を除く)	中国語 (地球市民学専攻を除く)	漢文 (言語文化専攻・地球市民学専攻を除く)
	小論文	言語文化専攻	日本語圏	英語圏	スペイン語圏
		思想文化専攻	思想文化		
		地球市民学専攻	地球市民学		
	公開年度		2017 年度入試		
	期		秋季	春季	
出題意図		志望する研究分野に関する基礎的な知識・理解を測る。			

解答例	問Ⅰ	省略
	問Ⅱ	<p>近年の思想界では知識の客観性が重んじられなくなった。何らかの目的のために構築された議論が多い。他者の議論の一部をとらえて非難するばかりで、自らの意見と異なる議論を十分に理解して、自説を批判的に省みることが乏しい。ダーウィンの『種の起源』は異なる。自らの主張に反する事例を多数挙げるので、本人の主張がそこに埋没するほどである。しかし、このような誠実さこそが学問の正しい心がけである。</p> <p>知識の客観性は、ある時代に真理とされたものが永遠不変であることを意味するわけではない。社会の変化によって変わりうる。それでも、学問的真理は、それぞれの立場において、永遠なるものに触れることがなければならない。歴史的・社会的存在は、どれほど物質的と思われるものであっても、精神的内容を有したものの、つまり表現的でなければならない。それらが永遠化されるところに文化が成立する。文化は経済的構造のみから生まれるのではなく、独自の意義が存在する。さもなくば、人間は単なる身体にすぎないことになる。脳が意識を生み出すと考えるのであれば、脳が単なる物質的存在ではなく、自己自身を表現的に限定するものでなければならない。そして実在そのものに意識の起源を認めることでなければならない。</p> <p>政治のために学問があるのではない。学問は批評的・指導的立場に立たねばならぬ。そのためには学問は客観性を理想とし、深く広い理論的基礎の上に打ち立てられなければならない。学問に従事し学問によって人生に貢献しようとする者は、どこまでも真理を理想として深大なる人生の建設に努力しなければならない。政治の目的もまた同様であるべきだ。</p>

平成29年度 春季  
大学院修士課程 入学試験問題  
《思想文化専攻》  
【小論文】

以下の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。〔100点〕

近年の思想界において著しく目に立つのは、知識の客観性というものが重んぜられなくなったことであると思う。始から或目的のために、成心を以て組み立てられたような議論が多い。従って他の論説、特に自己の考に反する論説を十分に理解し、しかる後これを是非するというのではなくして、徒らに他の論説の一端を捉えてこれを非議するに過ぎない、自己批評というものは極めて乏しい。単なる独断的信念とか、他の学説を丸呑みにしたものが多い。私は或動物学者から聞いたことであるが、ダーウィンの『種の起原』という書物は極めて読みづらいものである。その故はダーウィンという人は、自己の主張に反したような例を非常に沢山挙げる。読み行く中にダーウィン自身の主張が分らなくなる位だというのである。私はこういう話を聞いて、非常にダーウィンという人に敬服した。苟も学問に従事するのは、こういう心掛がなければならぬ、こういう誠実さがなければならぬ。知識の客観性といっても、私は或一時代に真理と考えられたものが、永遠不変だということではない。知識の客観性というのは、そういうことを意味するのではない。何千年来自明の真理と考えられたユークリッドの公理すら、自明でなくなった。しかしそれは単に変ったのではない。ユークリッド幾何学が一層一般的な幾何学の一つの場合となったのである。今日の新物理学に対して、ニュートンの物理学でもそうである。数学は数学として、物理学は物理学として、それ自身の客観性を有っているのである。哲学とか精神科学とかいうものは、数学とか自然科学という如きものと異って、各時代の社会的構造に支配せられるということは免れないであろう。しかしそれでも、それらのものも、単に変ずるものではない。単にその時代の或目的以外に、何らの意味を有たないものではない。それが学問的真理と考えられるかぎり、それぞれの立場において永遠なるものに触れるということがなければならぬ。如何なる時代に如何なる哲学的学問が発展したかということは、歴史的・社会的に説明せられるかも知らない。しかしその内容は単なる物質的存在から説明せられるのではない。すべて歴史的・社会的存在と考えられるものは、如何に物質的と考えられるものであっても、それは精神的内容を有ったものでなければならぬ、即ち表現的でなければならぬ。かかるものの内容が永遠化

せられるだけ、それだけ文化というものが成立するのである。下部構造の変ずるに従って上部構造が変じ行くとしても、その意義内容は単に経済的構造の意義内容から説明することはできない。そしてその意義内容の独自性というものがなくして、文化的存在というものはない。文化内容というものがそれ自身の独自性を有せないで、単なる階級的イデオロギーに過ぎないとするならば、文化的存在というものはないというと同様でなければならぬ。意識というものが単に映すものであって、それ自身に何らの独自性というものがなければ、要するに、それは無と扱ふ所はない、人間は単に身体というものに帰するの外はない。これに反し物質的なものから意識的なものが出ると考えるならば、物質と考えられるものは既にそれを生む性質を有ったものでなければならぬ。単に自然科学的に考えられる物質というものから意識が出るとはいわれない。弁証法的物質というなら、弁証法的物質とは如何なるものなるかが根底的に究明せられねばならぬ。脳髄というものが意識の基と考えられるには、その脳髄というものが単なる物質的実在という如きものではなくして、既に自己自身を表現的に限定するものでなければならぬ、歴史的事物の性質を有ったものでなければならぬ。しかしてそういう意味の脳髄というものを考えるというのは、既に実在そのものに意識の起源的なものを認めることでなければならぬ。

政治上の目的のために学問が作られるのではなく、学問はいつでも批評的指導的立場に立つものでなければならぬ。しかして学問がそういう役目を果すには、学問というものは何処までも客観的ということを目指せなければならぬ、何処までも深い広い理論的基礎の上に立てられなければならぬ。私は学問というものが、実生活を離れて存在すべきものだというのではない、学問のための学問でなければならぬと主張するのではない。かつ如何なる時代に如何なる学問が発展したかは、その時代の社会的構造によるという学問の歴史性を否定するものでもない。しかのみならず、我々が如何に客観的ということを目指しても、その時代の社会的影響を脱することはできないであろう。しかし苟も学問に従事し学問によって人生に貢献しようとするものは、何処までも真理を理想として深大なる人生の建設に努力せなければならぬ。真の政治というものの目的も、かかるものの建設にあるのでなければならぬ。

(西田幾多郎「知識の客観性」 初出『改造』昭和8年4月号)

**問1** 著者の論旨を要約しなさい。(50点)

**問2** 著者の議論を踏まえた上で、「知識の客観性」を確保するために何が必要であると思うか? あなた自身の考えを詳述しなさい。(50点)



## 清泉女子大学大学院 過去問題

これまでに志願のあった科目について、最も新しい問題の情報を公開します。

なお、公開されていない科目は志願のなかった科目です。

また、一義的な解答例を示すことが難しい問題は、その公開を省略します。

課程		修士課程			
公開 科目	専門科目	言語文化専攻	日本語圏	英語圏	スペイン語圏
		思想文化専攻	思想文化		
		地球市民学専攻	地球市民学		
	外国語科目 語学科目		英語	スペイン語 (地球市民学専攻を除く)	フランス語 (地球市民学専攻を除く)
			ドイツ語 (地球市民学専攻を除く)	中国語 (地球市民学専攻を除く)	漢文 (言語文化専攻・地球市民学専攻を除く)
	小論文	言語文化専攻	日本語圏	英語圏	スペイン語圏
		思想文化専攻	思想文化		
		地球市民学専攻	地球市民学		
	公開年度		2022 年度入試		
	期		秋季	春季	
出題意図		志望する研究分野に関する基礎的な知識・理解を測る。			

解答例

私にとって「地球市民」とは、地球規模の諸課題を自分自身に関係がある身近な問題として理解し、他者と協働しながら、具体的な解決策を提示し実践する人である。以下、私の学術的遍歴と実務、および社会活動の経験に基づき、そのあり方を論じる。

第1に、地球市民には学問的境界を越える「総合知」が求められる。私はこれまで法学、経営学から哲学、自然科学まで幅広く学んできたが、現代社会の複雑な諸相を前に、単一の学問領域による「タコつぼ化」したアプローチの限界を痛感した。例えば、気候変動や格差問題は、経済的合理性と法的正義、さらには倫理的判断を同時に必要とする。多様な知見を動員し、事象を多角的に構造化して捉える視座こそが、混迷する現代において不可欠な素養であると確信している。

第2に、実務経験を通じたセクターを越えた連携の視点である。長年の企業経験の中で、利益追求と並行してESG（環境・社会・ガバナンス）経営が主流化する変容を目の当たりにしてきた。現代の企業は、単なる経済主体ではなく社会の一構成員としての持続可能性を問われている。このESG経営の深化には、行政やNPOとの戦略的パートナーシップが不可欠であり、組織の論理を超えて公共の利益を構想できるリーダーシップが求められる。

第3に、相互主体性に基づく実践である。ボランティア活動は単なる弱者への施しではなく、自ら行動し、他者との共同性を求める生き方の探求行為である。私はボランティア経験を通じ、他者を援けることが自己の変容を促し、相互に作用しあうプロセスを実感した。この共生の感覚こそが、社会に関与し続けるための精神的基盤になる。

以上の通り、多角的な知を統合する俯瞰力、セクターを越える連携力、そして共生を志向する相互主体性を兼ね備えた存在こそが地球市民である。私は学びを深め、経験を積み重ねながら、社会をより良い方向へ変える具体的な一歩を踏み出したいと考えている。

2022 (令和 4) 年度 春季  
大学院修士課程 入学試験問題  
《地球市民学専攻》  
【小論文】

あなたにとって、地球市民とは、どうあるべき人たちですか？今まで、あなた自身が学んできたこと、仕事をとおして経験してきたこと、仕事以外のことで考えてきたこと、などを踏まえながら、論じなさい。【100点】